

令和元年

10月号

No.600

法音

特集 法音寺と文書布教

今月の
ご法話

今日一日を頑張る切ること

日蓮宗 法音寺



知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
受けた恩に感謝しましょう。
恩を忘れぬ人は信頼されます。
今日一日、
人に親切にしましょう。
人が喜び、自分もうれしい。
仏の教えは
知恩報恩の人となることです。

月刊・法音

令和元年十月号「600」

目次

【信仰の指針】しんぎょうのさしな「一日一生」 今日一日を悔いなく生きましょう 1

【朝のこない夜はない】 今日一日を頑張り切ることに 山首 鈴木正修 2

■お会式が厳修されます 19

■有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 20

■全山・斉清掃奉仕の日のご案内 22

【『月刊法音』600号特集】

法音寺と文書布教 23

■支院だより 55

■福祉のひろば 87

○はぐくみ・ふれあい・よりそい 88

○昭徳会・好評！楽はやつクッキングレシピ集 94

○開山上人の記事が掲載されました 96

■賛助員ご芳名 98

■幸せの種まき／編集後記 100

■連載まんが・ひまわり・81 ボランティア 101

■書籍のご紹介

■法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま 書 表紙写真・バラ

掲載写真 表紙・信仰の指針・3頁…梅田雅臣氏撮影

2頁…加納将人氏撮影

信仰の指針

一日一生

いちにちいっしょう

今日一日を悔いなく

生きましよう

日教五



ハギの花



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

今日きょう一日いちにちを頑張り切きること

現在げんざい身延山みのぶさんで修行しゆぎやうをさせていたでいる廣修こうしゅうが中学ちゅうがく生の頃ころ、ある詩しを紹介しょうかいしてくれました。相田あいだみつをさんの『いのちの根ね』という詩しです。

なみだをこらえて

かなしみにたえるとき

ぐちをいわずに

くるしみにたえるとき

いいわけをしないで

だまって批判ひはんにたえるとき

いかりをおさえて

じっと屈辱くつじやくにたえるとき



あなたの眼のいろが

ふかくなり

いのちの根が

ふかくなる

人生の修行というものは、このいのちの根を深く
することかもしれません。それには相田さんの詩のよう
に何よりもまず堪忍、忍耐が大事です。

杉山先生は「今日一日の堪忍」と言われました。御開
山上人のご法話集に「半日の堪忍」という話があります。
杉山先生から「堪忍はむずかしいことです。あなたに
一日中堪忍しなさい」というのは無理だと思いますが、
どうですか。半日ぐらいならできますか」と尋ねられた
御開山上人が、「半日ぐらいならできないことはありません
せん。それが済んだら怒ってもいいんですか」と聞かれ



ました。すると「それではいけません。でもお昼までで
きたら、また晩までと思って半日ずつやることにしたら
どうですか」と答えられました。御開山上人は「そうで
すか、先生。良いことになるのでしたら一つやってみま
しょう」と言って実行されたのです。まだ二十代前半の
頃の話です。やってみると本当に気分が良く、これな
ら半日ではなく、一日の方が良いだろうと思われるそ
うです。そこで「先生、今日一日、今日一日」と思っ
てやっていきます」と杉山先生に報告すると、先生はた
いそう喜ばれて「あなたはえらい。『此経難持 若暫持
者 我即歡喜』と言われているように、仏さまの教えの
『仏になる道』というのは、なかなか行いにくいもので
す。それがあなたのように、半日やってみるか」と言
ったら半日やって、今日一日でも堪忍できるようなな
ったと言われる。そのことが『此経難持 若暫持者』
ということ。誰もが楽しいのはそのことです。



「今日一日だけ、今日一日だけ」とやりなさい」と言われたそうです。

最近、芸能人やスポーツ選手が薬物に手を出して逮捕されるといったニュースをよく耳にします。一度薬物に手を出すと、止めることはとても困難だそうです。

『ダルク』という薬物依存症の更生施設があります。ダルク (DARC) とは、ドラッグ (Drug) 薬物の D、アディクション (Addiction) 中毒、病的依存の A、リハビリテーション (Rehabilitation) 社会復帰・回復の R、センター (Center) 施設・建物) の C を組み合わせた造語です。茨城ダルクの代表をされている岩井喜代仁さんという方がいます。岩井さんの施設は、「今日一日ハウス」という別名があります。茨城ダルクは「人間再生工場」とも言われています。岩井さんは代表になってから何千人という薬物依存者と向き合ってきました。



そしてその半数近くを社会復帰に導かれたのです。

岩井さんは元ヤクザの組長で、覚醒剤の密売人でもあ

りました。十七年もの間薬物中毒でしたが、45歳の時に

改心してダルクの代表になりました。岩井さんは言われ

ます。「薬物の恐怖などということをよく言う。だがそ

の言葉の本当の意味がわかるのは薬物を使用する人間、

あるいはそれによって苦しむ家族達である。一度体で覚

えたクスリの快感は、決して忘れられないし、なかなか

抑えきれるものではない。自分がダメになる、家族も仕

事も金も何もかも失うと知りつつ、また手を出してしま

う。その行きつく先は地獄。それが薬物だ。私はかつて

十七年間も、その快感を追い求めてきた。クスリがどれ

だけ気持ちの良いものか。逆にそれがいかに悲惨な現実

を招くか。骨の髄まで知っている男である。縁あって今

は覚醒剤を売ったり使用する立場から、薬物依存になっ

た人達の回復を助ける立場へと変わった。だが、そんな



私でも相談にきた若者が目の前に覚醒剤をポロッと出したら、それだけで心臓がドキドキする。内緒でポケットに入れ、どこか人のいない所に持っていて使おうか……そんなことまで考えてしまう。薬物を使ってニコニコ笑っている若者を見て、この野郎どうらやましく思うのが偽らざる姿だ。敵は薬物だけではない。過去の自分と生涯にわたって戦い続けなくてはならない。これが私に課せられた宿命なのだ」

岩井さんは昭和22年、京都に生まれ、中学卒業後には愚連隊に入っていました。23歳の時にはヤクザの組長で、自分が百人程いました。そして子供達を食べさせるために覚醒剤を売っていたのです。その時、客の一人だった近藤恒夫という男に「お前、売るなら、いっぺん使ってみろ」と言われて、一度だけ使くと、そこから地獄が始まったのです。それから、日々依存度がエスカレートし、



覚醒剤による不始末で指を落とすことになってしまいました。〃クスリを止めなくてはいけない〃と思いました。が、翌月にまた不始末をし、二本目の指を落とすことになってしまいました。〃このままでは全部の指がなくなる〃と思って、腹を括ってヤクザをやめ、クスリを止めた。一心で遠く離れた北海道に行きました。しかし、北海道でも覚醒剤の密売人になってしまいました。東京と北海道を行き来するうち、羽田空港で逮捕されました。その時に奥さんは子どもを置いて出て行ってしまいました。

岩井さんは捕まった時に、〃刑務所に入ったらクスリを止められるかもしれない〃と思ったそうです。しかし、執行猶予がついてすぐに社会に戻ることになりました。〃もう絶対にクスリを止めよう〃と心に誓いましたが、足が向いたのは新宿の密売人のところでした。〃これではいけない〃と思って、埼玉県の飯能の山奥に息子と一



緒に逃げました。しかし、気がつくど、また覚醒剤を手
にしていきました。この頃、幻覚や幻聴が現れ出しました。
虫の大量が自分めがけて襲ってくる感覚になり、狂った
ように殺虫剤をまき散らしました。また風の音や鳥の声
が人の声のように「死ね、死ね」と聞こえてきました。
死ぬしかない〴〵と思って高い木にロープを下げ首にか
けます。しかし下を見ると覚醒剤があります。〴〵あの覚
醒剤を使ってから死のう〴〵と、何度も同じことを繰り返
しました。

ある時、〴〵もう金輪際覚醒剤を使うまい〴〵と思い、湧
き水の中に覚醒剤を投げ捨てました。その時、声が聞こ
えたのです。

〴〵後から登ってきた人が水を飲めなくなるだろう。何を
考えとるんだ。馬鹿者〴〵

また幻聴かと思つて上を見ると、木の上にお地藏さん
が乗っていました。そしてそのお地藏さんが、〴〵わしは



ここをずっと守^{まも}っている。見^みつけたんだから早く降^はろせ^おと言^いったように感^{かん}じ、息^い子^こを呼^よんできて、二人^{ふたり}でお地蔵^{じぞう}さんを木^きから降^おろして、湧^わき水^{みず}のところに置^おきました。すると不思議^{ふしぎ}なことにクスリを使^{つか}いたい気持^{きもち}ちがおさまりました。

それからほとんどクスリを使^{つか}わないようになり、眞^ま面目^{じめ}に働^{はたら}こう^{おも}と思うようになりました。しかし、雇^{やと}ってくれるところがありません。生活^{せいかつ}に困^{こま}り果^はて、たまたま見^みた週刊誌^{しゅうかんし}に、覚醒剤^{かくせいざい}使用^{しよう}のきっかけになった、かつての常連客^{じょうれんきやく}の近藤恒夫^{こんどうつねお}が載^のっていました。東京^{とうきょう}で日本初^{にほんはつ}の『ダルク』を設^{せつ}立^{りつ}したということでした。藁^{わら}にもすが^がる思^{おも}いで、会^あいに行^いきました。そして今^{いま}までのことを洗^{あら}いざらい話^{はな}すと近藤^{こんどう}は言^いいました。

「じゃあ俺^{おれ}から提^{てい}案^{あん}がある。お前^{まえ}はクスリを選^{えら}ぶか、ヤクザの道^{みち}に返^{もど}るか、人生^{じんせい}をやり直^{なお}したいのか、この三^{さん}つのどれだ」



「人生をやり直したい」

「そうか、俺から見たらお前はただ一つだけ救いがある。それは自分の子どもを捨てなかったことだ。人間としての情が切れていない。お前ならまだ回復できるかもしれない。どうだ、俺の言うとおりにやってみるか」

そして、茨城ダルクに月給十七万円で住み込みの調理師兼留守番として雇われたのです。それからも紆余曲折はありましたが、岩井さんは、薬物と一切縁を切ることができました。

しばらくして、元ヤクザのダルク代表ということで話題になり、講演依頼が殺到しました。しかし、岩井さんは、自分のような元ヤクザがこんなことをしていいいいのか。早く後継者を見つけて出ていった方がいいのではないのかと悩んでいました。そこでカトリック教会の神父さんに相談しました。最初にダルクを支援し



てくれたのが、カトリック教会きょうかいだったのです。神父しんぶさんは「やめる必要ひつようはありませんよ。あなたを神かみさまが求め待まちっていらしたのですから、自分じぶんの仕し事ごとを精せい一いつ杯ぱいやったら良よいと思おもいますよ」と言いいました。それから定てい期きてき的に神父しんぶさんに相そう談だんするようになり、ついには洗せん礼れいを受うけるまでになりました。

岩井いわいさんは常じょう時じ40名めい程ほどの若者わかものと暮くらしています。生活せいかつはとても規き則そく正ただしく、日ひに何回なんかいもミーテイングをし、告こく白はくして、お互たがいに慰なぐさめ、励はげまし合あいます。入はいって来る若者わかものは刺青いれずみがあったり、薬物やくぶつで心身しんしんともにボロボロになっなっていたり、クスリ欲ほしさに万引まんびきや窃盗せつとうを繰くり返かえしたり、精神病院せいしんびょういんに入いれられたりといった荒すさんだ若者わかものばかりです。数千人すうせんの若者わかものの面倒めんどうをみて、社会復帰しゃかいふっきできたのは半はん分ぶんぐらいですが、一回かいで社会復帰しゃかいふっきできたのはごく少数しうすうです。ほとんどの若者わかものはダルクに何度なんども戻もどってきます。



規則正しい生活を送ることができずにすぐ逃げ出す者もいます。施設の中で自殺してしまう者もいます。

多くは入ってほしい三カ月ぐらいで正常になり、体が元に戻ってくるそうです。すると、だんだん打ち解けて岩井さんに「おう、オヤジ」と呼ぶようになり、「オヤジ、俺仕事がしたい」と言うようになるそうです。こうなるまでには一年程かかるのだそうですが、岩井さんからは「アルバイトや仕事に行くように」とは絶対に言わないそうです。本人が言ってきたら「そうかそうか」と仕事を紹介するのです。そして短時間のアルバイトができたならば本格的に社会復帰をさせるのですが、大半はまた薬物に手を出して刑務所や病院を経て戻ってきてしまいます。そうして戻ってくる若者達に岩井さんは「おう、よう帰ってきたな」とひとこと言って、それ以上何も言わずに、何事もなかったかのように受け入れるそうです。



すぐに戻ってくる若者達には二つのケースがあるそうです。

一つは、友達の家に行って、友達と薬物に手を出してしまう。

もう一つは、実家に帰るが、実家の両親が甘すぎて、親離れ子離れができていない。子どもが何か悪いことをするとすべて尻拭いをしてしまい、子どもを突き放すことができず、親子で地獄に落ちてしまう。そんな様子をみて、岩井さんは親達に「突き放さないといけない。心を鬼にして、お前は罪を犯したのだから、刑務所に行くか、自立をするか、ダルクに行くか、三つに一つを選べ。それ以外はない。そう言ってくれ」と話します。そうして、自分から「ダルクに行く」と言った若者を受け入れます。これが親離れ子離れの基本、人間を立ち直らせる原点だと岩井さんは言います。



薬物依存の子どもを持つた親は子ども以上に心が苛ま
れています。そんな親達を助けるために、悩みを相談し
合う家族会を作りました。現在全国に十六カ所あるそう
です。家族会を運営していくうちにあることがわかりま
した。夫婦の仲が良い家庭で育った子ども程、薬物から
の回復も早いのです。夫婦が仲良くしているのを子ども
が脇で眺める。これが一番だということも分かりました。
薬物からの回復をするためには家族関係の修復は欠かせ
ないそうです。岩井さんは、その最初のモデルになるた
めに、奥さんや息子さんとの関係を修復し、今では岩井
さん家族の実践が、家族会のモデルケースとなっている
そうです。

現在、茨城ダルクは、他のどこのダルクよりも回復率
が良いということで評判になっています。

茨城ダルクの社会福祉法人化に對して、地域の反対運



動どうが起おこったことがありました。岩井いわいさんは何なん度も神かみに祈いのりました。そして、神かみさまは何なにをしているんですか。私は命いのちがけで一いつしやうけんめい生い懸命けんめい頑張がんばっているのに：とふと思おもったそうです。その時ときです。いろいろな人ひとから「うちの建たて物ものを使つかってくれ」「施設しせつを使つかってくれ」と申し出でがあり、関東・東北かんとう とうほく地方ちほうに九つのダルクが次々つぎつぎと誕生たんじやうしました。

「ああ、神かみさまはこういうふうに考かんがえておられたのか。ちゃんと神かみさまは我々われわれのことを見みておられたのだ。何も心配しんぱいすることはないのだ」と神かみさまの働はたらきを実感じっかんされたそうです。

岩井いわいさんは言いわれます。

「自分じぶんの見栄みえも外聞がいぶんもすべて捨すてて、正直しやうじきな心こころになつた時とき、見みえない力ちからが働はたらくのです。これを私達わしたちは、靈的れいてき（スピリチュアル）な、偉大いだいな力ちから（ハイヤーパワー）と呼よんでいます」



また薬物依存からの回復もこの力による、
「靈的目覚め」
が大事とも言われます。

茨城ダルクの別名は「今日一日ハウス」です。
岩井さんの言葉です。

「今日一日はクスリを使わない。過去使ってきたけど、ここに来たからには、今日一日クスリを使わない。そして明日も一日使わない。今日一日をどれだけ気分良く、明るく強く過ごせるか。与えられた環境に感謝して、今日一日を生きる。そこに不思議な力が生まれてくる」

私達も「今日一日」です。先のことを考え過ぎず、今日一日を頑張り切ることが大切です。今日一日を功德の日としましょう。



日蓮聖人の御命日法要（お会式）が厳修されます。
法音寺本山では、

10月17日（木）、午後1時30分より

講日に併せて御報恩法要が営まれます。
皆さまのご参詣をお待ちしております。

◆今月の山首上人さまご親修日程

岐阜支院	10月4日（金）	淡路支院	10月6日（日）
福山支院	10月13日（日）	安城支院	10月14日（祝）
豊川支院	10月20日（日）		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

支院名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	6日・12日・26日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市中心4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	6日・14日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0566)72-7208 ご連絡は本山事務局へ
佐屋支院	4日・13日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・20日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野721-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)21-0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	6日・20日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	13日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	14日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	12日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	6日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	6日・8日・20日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	13日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・13日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	12日・27日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	6日・13日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	6日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	6日・12日・15日・20日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	13日・27日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	13日・27日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・26日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	14日・27日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。(掲載順不同)

お世話になっている地域へ感謝を込めて...



※これまでの清掃活動の様子

お知らせ

令和元年10月13日(日)

『全山一斉清掃奉仕の日』

青少年育成委員会主催

全国の各支院や布教所で、近隣の落葉集めや清掃を行います。感謝の心で清掃しましょう。



私たちの住む街をキレイに！



一生懸命お掃除したよ！





600号特集

法音寺と文書布教

法音寺は、人々の幸せを願って多くの本を世に送り出してきました。それぞれの時代に私達はそれらの本にふれ、悩み苦しみから救われてきました。

『法音』600号では、「法音寺と文書布教」というテーマでそれぞれの時代に発行された本を紹介します。

仏教感化救済会・大乘報恩会時代

関東大震災後、世の人々の心を
正すべく作られた
『世界の鏡』



この時代の出来事については、『始祖・杉山辰子先生物語 安立行』に詳しく記されています。

関東大震災を予知したにもかかわらず、世間に発表することができないと知った杉山先生は、芝と麻布の住宅に「妙法の本尊」を貼って回られました。その時、御守も一緒に渡されたといいます。それには『災難を未然に防ぐ御守の心得』という説明書きが添えられていました。（左頁上段参照）



文書布教と世界の歴史

- 明治42年 ● 名古屋・清水町に仏教感化救済会開創
- 大正4年 ● 東京・ハンセン病治療専門の東洋病院に外向
- 5年 ● 東京・上野桜木町に東京支部開設
- 6年 ● 名古屋市中区千種町中道に病舎を建設
東京支部、芝区三田小山町に移転
大阪支部、堺市に開設
- 7年 ● 静岡県・御殿場・ハンセン病専門の神山復生病院に外向
- 10年 ● 関東大震災を予見、各方面に説くも公表を却下される
- 11年 ● 東京・深川水難罹災民に救援物資を施与
- 12年 ● 関東大震災
小冊子『世界の鏡』を施与
東京支部、武蔵小山に移転

福德を受けるには

- 第一、私達は蓮華が泥水より生じて、すこしもその純潔を穢さざる如く、この濁世に在りて、常に高潔であらねばなりません。第二、智慧なき者を軽しめ、侮るようではいけません。例えば、嬰兒に乳を与えるが如く親切に教え導かねばなりません。第三、太陽が宇宙の万物を平等に照らすが如くに、己より自覚して、すべての人を慈悲の眼を以て視ねばなりません。第四、法華経は、前述の如く、変応自在の法でありますから、昼夜退転なく南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経と唱えれば、必ず災難変じて福德となるのであります。
- （『災難を未然に防ぐ御守の心得』より）

『世界の鏡』と街頭布教

前もって予見しながらこの大難を未然に防ぐことができなかった無念さは、たつ（杉山先生）をしてさらなる布教活動へと駆り立てていった。：（略）：まず新たな布教活動の一つとして、日蓮聖人の伝記・法華経の解説などをまとめた『世界の鏡』という一冊を作り上げた。：

（略）：寒風が吹き抜け、人々が身を縮めて足早に歩く一月、東京でも最も被害の大きかった下町、浅草の街角に『世界の鏡』を手にした三人の女性の姿が見られた。まだ恥じらいの多い乙女達が、「この本をお読みください。ありがたい法華経を解説した本です」「病氣や、この間の地震のように恐ろしい災難から逃れる方法も書いてあります」と、繁華街の人混みの中で呼び掛けた。目つきの良くない男にからまれて、縮み上がったことも一度や二度ではなかった。

（『始祖杉山辰子先生物語 安立行』より）

DVD

「二人から始まる今日一日から始まる」より



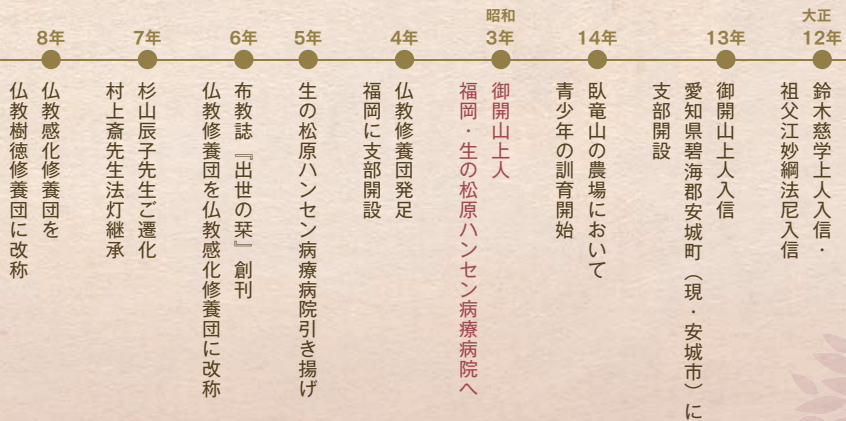


『世界の鏡』がつかない運命の糸

この『世界の鏡』が運命の糸をつなぐことになります。ある日、御開山上人の叔父にあたる鈴木芳蔵（後の鈴木慈学上人）の手に渡ったのです。

「そんなある日、隣の家の人が、

『あんだ、法華好きやろう。こないだ、名古屋に行つて道を歩いたら、こんなもんくれた。わしら読んでもわからんで、あんだにあげるわ』と一冊の本を置いて帰った。赤い表紙の文庫本くらいの大きさで、『仏教感化救済会発行』『世界の鏡Ⅱ』と書いてあった。中味は、法華経の要約と、日蓮聖人の伝記のようである。…（略）…芳蔵はにわかに、この仏教感化救済会の会長・杉山辰子という人に会つてみたくなった。懷に『世界の鏡』を抱いて、巻末の住所をたよりに道を尋ね尋ね、名古屋市東区葵町にあった仏教感化救済会本部を訪れた」（『泰山』より）



『出世の葉』

(昭和16年からは『修養の友』に改題)

『出世の葉』は福岡・生の松原からお帰りになった御開山上人が編集責任者となつて発行されました。御開山上人伝『泰山』には次のような記述があります。



編集長は若き日の
御開山上人

…仏教修養団の機関誌である『出世の葉』の編集責任者となつた修一郎は、創刊号に「修養団員は『出世の葉』を実行することに努力しましょう。一人でも多く『出世の葉』を読ませてください。実行談をふるって投稿してください。この修養団を皆さまの力によつて立派なものにしてください」と記した。…(『泰山』より)

「皆様方ハドナタデモ出世ガシタイト思ハレルデセウ…」という杉山先生のお言葉から始まる創刊号には、「人が極楽・宝の山に到るためには橋も舟も必要であり、その道を学び実行することが大切である」と説かれています。昭和17年、『出世の葉』から始まつた『修養の友』は11年目に廃刊。ちなみに特別高等警察による宗教弾圧は翌年(昭和18年)のこと。太平洋戦争が激化していく時代の中でも人々が信仰を捨てることのないよう、杉山先生の教えをギリギリまで発信し続けていたことが推測できます。



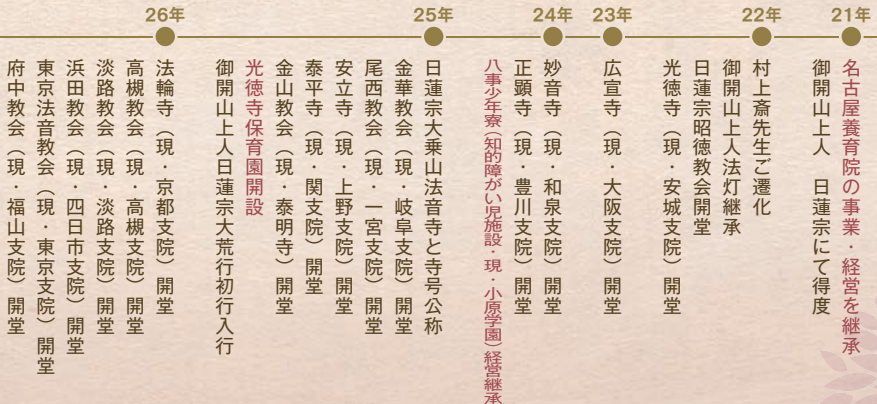
- | | | | | | | | | |
|-----|--------------|-------------------------|-------|---------|----------------|---|---------------------------------------|-------------------------|
| 20年 | 19年 | 18年 | 16年 | 14年 | 13年 | 12年 | 11年 | 9年 |
| 終戦 | 大乘報恩会を昭徳会と改称 | 特別高等警察により
宗教活動を禁止される | 太平洋戦争 | 駒方診療所開設 | 大阪大乘会館(大阪支部)建立 | 駒方保育園開設
大乘会館建立(法音寺旧本堂)
財団法人大乘修養団と改組 | 育児院・駒方寮開設
仏教樹徳修養団を
財団法人大乘修養団と改組 | 財団法人大乘報恩会と改組
仏教化救済会を |

御開山上人の遺されたもの



『生活の指針』は私の遺言です
(御開山上人)

戦争が終結したものの、平和が戻って来たわけではありませんでした。街は荒廃し、戦傷者や浮浪者であふれていました。「法華経によって世を感化し、救済する」という師の教えを実践すること。それによって混乱する日本を救わなければならない。しかし、宗教活動は禁止されたままでした。一日も早く布教活動を再開しなければ、という思いから出家・得度を決意された御開山上人。再起の体制を整えると、各地方に待機していた信徒のグループが一斉に立ち上がり、講話会の再開を本部へ懇請にきました。以来、極めて短期間のうちに各地に驚異的に布教拠点が設置されていきました。



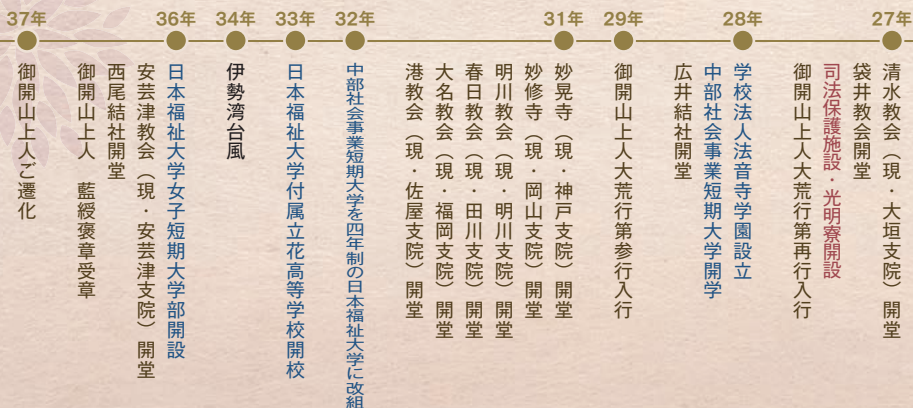


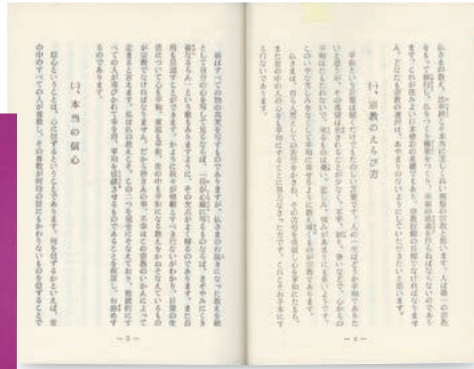
『日常生活の指針』

その頃、御開山上人が教化資料として執筆されたのが『日常生活の指針』（昭和30年から『生活の指針』に改題）です。昭和28年から37年まで、全28冊発行されました。文庫本サイズの小冊子でした。後に御開山上人は、「『生活の指針』は私の遺言です」と述べられました。

講話会の再開を待ちわびていた当時の信者さん達からしてみれば、この本はまさに待望の教化資料に映ったことでしょう。周りを見れば、戦争の傷が癒えない人達もいた時代。篤信の信者さん達は、この本の裏表紙に自分の名前を書き（または押し）、人々に配布されたとうかがっています。

その後編集され、昭和33年に『現代生活の指針』・『続・現代生活の指針』の二冊にまとめられ（次頁参照）、今も多くの人々に読まれています。





『現代生活の指針』

「信有りて解なければ無明を増長し、解有りて信なければ邪見を増長す。信と解と円通して、方に行いの本となる」(涅槃經)「行学二道を励み候べし。行学絶えなば仏法はあるべからず」(諸法実相鈔)

これは、ともに仏教信仰の正しいあり方を示したものと思いますが、この本の著者・鈴木修学師は、まさしく信解円通の人であり、行学二道の実践者であります。著者のような信解と行学を兼備した人にして、初めて能くすることでありましょう。

(「推薦のことば」久保田正文師「抜粹」)

※『現代生活の指針』は時代を越えて多くの人々に読まれています。御開山上人が紡いだ法音寺三徳の集大成ともいえる本です。

『道徳と宗教』

中部社会事業短期大学が四年制の大学として認可され、日本福祉大学になった昭和33年、付属の立花高校(現・日本福祉大学付属高校)が開校しました。『道徳と宗教』は『現代生活の指針』の抜粋版であり、高校生達向けに発行されました。序文からは、御開山上人が未来を担う若者達の成長に大いに期待を寄せているのがうかがわれます。「本書によって読者諸君の日常生活が進歩し、国民道徳の向上が基礎づけられるならば、望外の幸いであります」(「序文」より)





『法華三部経略義』

右『無量義経略義』

中『妙法蓮華経略義』

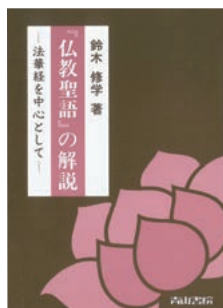
左『仏説観普賢菩薩行法経略義』

「私のお話のとは全部、杉山先生から教わったことであります。初めは何も知らなかったのです。ます。もし、何も知らないままだったら犬や猫と同じようなものだったと思います。杉山先生のお陰で、皆さんにもお話ができ、本を書いたりすることができるようになったのであります。そうして聞いてきたのが、ちょうど一千頁の本『妙法蓮華経略義』などになったわけです」

（『御開山上人御法話集』2より）

『仏教聖語』の解説（原題『聖の教え』）

仏教はその内容深く、その偈も解し難きを以て、その重要な一偈ずつを読みやすく、了解しやすくして、一般の人々をして、仏教に親しみ深くっていただくようにと考えました。仏教信者の皆さんも、未だ信じておられぬ皆さんも、一読して仏の慈悲心を思い浮かべ、再読して日常生活に折り込んで、現代の世の中を少しでも明るく、楽しく暮らし、目的の適った人々は、未だ知らない人々に仏の教えをわからせ、より楽しい生活のできるようにお力添えをしていただきたいのであります。（「序文」より）



仏教界に革命を起こした法音寺の漫画

「子どもの頃は経典がむずかしいので、日蓮宗のお坊さんはだいたい漫画を見て育った」と現役僧侶が話す程、法音寺の仏教漫画は影響力と人気がある。

（『仏教タイムス』より）



教育マンガ

法華経は、深い意味をもっていますので、理論の筋道を考えるだけではわかりることができません。ところが法華経は、この深い意味を、やさしく、わかりやすく説明してくれます。七つのたとえ話というのがこれです。これによって、自然に仏教の深い意味を自分のものにすることができるのであります。その上、この物語を解説してくださる鈴木先生は、ただの学者ではなくて、法華経の心を実行しておられる先生です。だからこの本は、私達が人生の荒波を乗り切る船ともなると思うわけがあります。

（「すいせんのことば」久保田正文師より）

「実は私、最近『マンガの先生』と言われるようになりました。何しろ仏教というものは、たとえば『無量義經の徳行品』というような、名前を聞いただけでもむずかしいものですが、それをマンガにしたのです。（略）『法華經』を書いたくらいで簡単に助かるなんて、そんなうまい話はないだろう」と思うかもしれません、どうでしょう。皆さんを助けるということは大きな善根功德となつて、これから地獄や餓鬼や畜生の世界に行く人が一人もいなくなり、全く地獄がさびれてしまふ、ということになるわけですから、一度やってみたらどうでしょう。極楽がいっぱいになり、本当に良いところにな



れば、日本の国は立派な良い国になつて、皆さんの家もすばらしい家になる、というわけです」（『御開山上人御法話集』より）



法音寺には御開山上人と当時の青山書院・澤社長との間で交わされた多くの書簡（右）が今も残っており、その中には細かい指示が記されています。御開山上人の脳裏には漫画の本を手にして喜んでいる子ども達の笑顔が浮かんでいたのだと思います。

現代はさまざまな入門書が漫画として発行されていますが、当時の仏教界では『法華經や日蓮聖人を漫画で解説する』こと自体、革命的な出来事でした。仏教は世の人々のためにある」とするならば、誰にもわかりやすく説かれるのが理想とわかっていても、なかなか取り組めなかった領域でした。その中で御開山上人が着手できたのは、無類の子どもも好きだったからと考えられます。

法音寺の仏教漫画はその後、日本全国に広まってきました。多くの方の手に届いただけでなく、法音寺の漫画を通して仏さまの教えにふれたということは、とてもない文書布教といえます。全国の日蓮宗寺院では、今も御開山上人時代の仏教漫画が販売されています。

そして、その系譜は今日の法音寺にも月刊『法音』の漫画として受け継がれています。

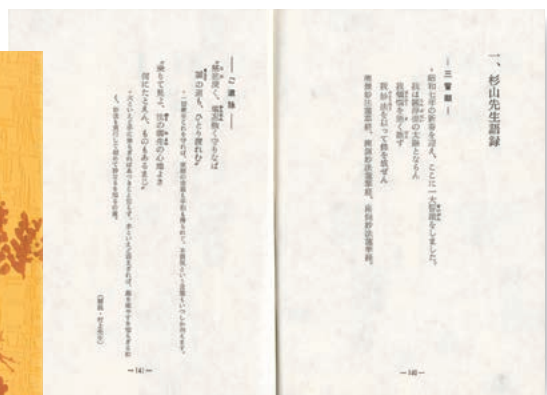
先師の教えを伝承

御開山上人がご遷化され、日達上人が法灯を継承された時代、先師のご生涯や教えを紹介する本が発行されました。始祖杉山先生の伝記は、『杉山前会長の生涯』として発行されていました。ところが、戦前であったこともあり、ほとんど残っていない状況でした。そこで

伝記『無上道』を発行。またその後、『御開山上人伝―如我等無異』が登場します。〴〵時代は流れても法音寺に連なる者は信仰の軸を曲げてはならない、という日達上人の思いが伝わってきます。



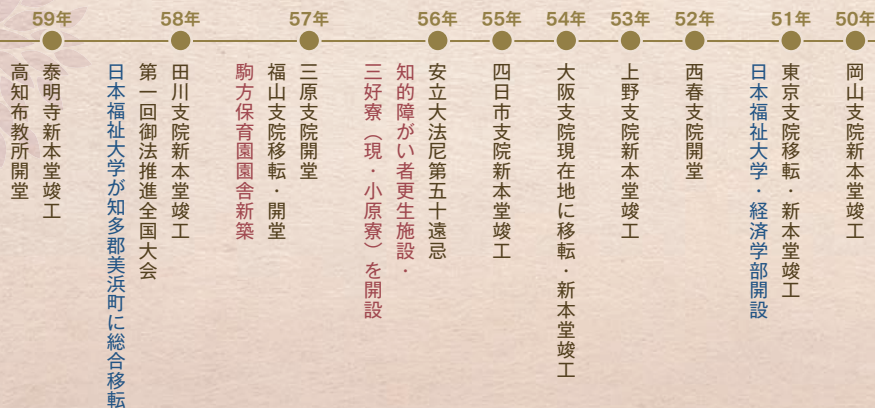
- | 昭和37年 | 昭和39年 | 昭和40年 | 昭和42年 | 昭和43年 | 昭和44年 | 昭和46年 | 昭和47年 | 昭和48年 | 昭和49年 |
|---------------------|-----------|-------------------------------|-------------------|----------------------|-------|------------------------|--|---|-------------------------|
| 日達上人法灯継承・日蓮宗大荒行初行人行 | 布教誌『法音』創刊 | 光明寮と八事少年寮を統合し、三好学園（現・小原学園）を開設 | 児童養護施設・名古屋養育院院舎新築 | 大乗山法音寺新本堂竣工・入仏平賀支院開堂 | 坂支院開堂 | 法音寺開山堂竣工
光徳寺保育園園舎新築 | 法音寺庫裡棟竣工
安城支院・関支院現在地に移転
日本福祉大学・修学館竣工 | 静岡支院開設
豊川支院現在地に移転・新本堂竣工
大乗山法音寺落慶大法要 | 寺岐布教所開堂
第一回青少年育成道場開催 |



『無上道』

始祖杉山先生のご生涯を訪ねて
昭和49年

始祖・杉山辰子先生のご誕生からご遷化されるまでのご生涯が綴られています。16歳の頃、家運挽回のため法華経行者・鈴木きせ女史に師事。19歳で天眼通を具足。断食や水行など厳しい修行を重ねる中、村上齋医師と出会い、薬餌療法と精神修養による救済活動を開始。後に法音寺の前身となる仏教感化救済会を設立。ハンセン病患者の救済や自然災害の被災者に対する救済活動の日々が描かれています。「我々は受け難き人身を受けたのだから、衆生済度（＝衆生を救い彼岸に渡す）という天命を忘れてはいけない。大いに世のため人のために尽くしてください」と世の人々に訴えた杉山先生。信仰と福祉の寺・法音寺の原点を知る一冊です。





『御開山上人伝 如我等無異』 昭和53年

御開山上人の伝記は、上人ご一代だけでなく、それは、法音寺の歴史を語るものでなければならぬ。杉山先生の教えを受け、村上先生に師事し、法音寺を今日の一大教団に花咲かせるとともに、衆生済度の悲願は、全国でも有数の民間社会福祉事業に育て、日本福祉大学等の学園を創立させ、すべてを包括するに至る一大叙事詩といえることができる。(略)

この本を通じて強く感ぜられるのは、世俗的幸福、平和の中にある不安に対処するために、その根本を極めようとする一人の人間の強い意志と情熱である。

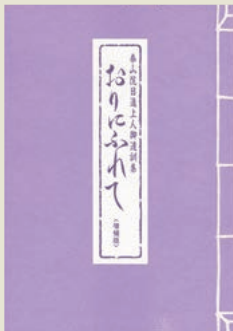
(「発刊の辞」より抜粋)

杉山先生の「衆生済度」の理想を受け継ぎ、命をかけて実行された御開山上人。その激動のご生涯が綴られた感動の一冊。

おすすめの1冊

『おりにふれて』

御開山上人の珠玉の教えがそれぞれ一頁にまとまっているため読みやすい本です。「悩みがあった時、開いた頁に解決のヒントがあった」という声も多く聞かれます。携帯にも便利なサイズ(B6判60頁)なので、いつもカバンに入れて持ち歩きたい一冊です。



『始祖・御法話集』

生きていく上には、いろいろの悩み・苦しみがつきまといいますが、その中におぼれこみ、自分を見失っていくことが多いものです。杉山先生は、法華経を依り所にし、慈悲・至誠・堪忍の実行により、より良い自己の確立とゆるぎない平安を私どもに示されたのであります。杉山先生の教えは、論理による安心でなく、日常生活の中で法華経に説かれる仏の行いを自己の心とし、三徳の実行を重ねることによって幸せへの基を築くことを教えられたのであります。（発刊の辞より）



『村上先生御法話集』(一)(二)

「最初が肝心です。まず一度だけ堪忍してください。そうすれば、次の堪忍も自然とできるようになります。こうして堪忍を重ねていけば、その徳は実に、また、非常に大きいのであります」（本書より）

※始祖安立大法尼の後を継ぎ、法華経による物心両面の救済活動を発展させ、法人組織としての基礎を確立された村上齋先生。最晩年まで各地の支部を回って講演活動をされました。私達の抜苦与楽の手助けとなるご法話集です。



『御開山上人御法話集』(一)(二)

『御開山上人御遺稿集』

当時、御開山上人は各地でご講演の際に、その都度布教資料を配布され、人々を導かれました。その折々に配布された資料・ご法話を収録し、まとめたのが『御開山上人御法話集』『御開山上人御遺稿集』です。



『法音』が生まれた背景

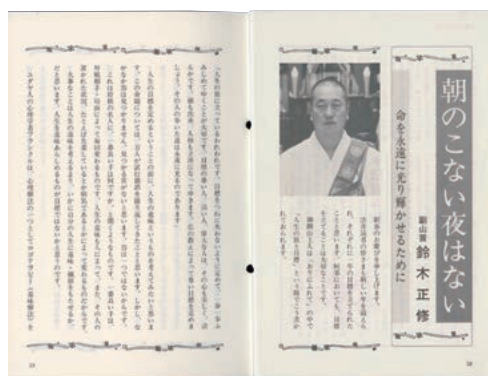


月刊誌『法音』誕生まで

月刊布教誌『出世の葉』は御開山上人が生の松原から戻られた翌年（昭和6年）からスタートし、昭和17年まで発行されました。昭和18年から宗教活動が停止。戦後、法音寺としての活動が始まると御開山上人は『法音寺教報』という新聞を発行されるようになりました。そして、御開山上人がご遷化された2年後の昭和39年11月、日達上人によって『法音』が創刊されました。当時は大型新聞形式（22回発行・左頁上）で、まだ月刊誌ではありませんでした。その後、タブロイド判（23〜62号・本頁上）になったのが昭和43年5月のこと。昭和50年1月から現在の小冊子で月刊誌となりました。



昭和39年11月『法音』創刊号



平成7年1月『法音』303号
「朝のこない夜はない」第一回掲載



昭和50年1月『法音』63号
月刊誌（小冊子）の第一号

記念特集にはこんな記事が掲載されました



平成6年 10月号

法音 **300号**

- 妙経・如是我聞
〔御開山の声〕
『語録 如我等無異』



昭和61年 6月号

法音 **200号**

- 始祖に続く道—法音寺
三徳へのいざない



昭和53年 2月号

法音 **100号**

- 「100号によせて」
(日達上人・宗保上人)
- 日達上人講演抄



令和元年 10月号

法音 **600号**

- 法音寺と文書布教



平成23年 6月号

法音 **500号**

- 華ひらく大乘山
(年表と写真)



平成15年 2月号

法音 **400号**

- 安立大法尼とその時代
(折々の教化)



『お寺と私をつなぐ糸』

幼い頃から子ども会・青年会でお世話になっていましたが、就職してお寺から遠く離れた地に配属されてからは、それまでのようにお寺にうかがうことができなくなりました。両親も他界し、疎遠になってしまった私にも、毎月『法音』が送られてきます。『法音』を手にとると、「君のことは忘れていないよ」というお上人の声が聞こえてくるようで、心が温かくなります。『法音』は私にとって愛読書であり、私とお寺を結ぶ唯一の糸のような気がしています。

『法友の輪が広がれば』

先日、出張先から帰る途中、新幹線ホームの待合室で電車の到着を待っていますと、目の前に座った上品な女性が『法音』を読んでおられました。とても集中して読んでいらっしゃる様子だったので、声を掛けるのを控えましたが、この人も法音寺の教えを聞いている人なのか…と親近感を覚ええました。〃多くの人が『法音』を通し、法音寺の教えにふれて、幸せな日々を送れるようになるのならばいい社会になるのだらうなあ…と車中で考えていました。

大白牛車

山達上人さま講演抄
大白牛車
(一)

山達上人さま講演抄
大白牛車
(二)

日達上人は、発行された「施本」を手に、本山法音寺においてはもちろん、全国の支院にご親教、ご説法をされました。師をお迎えする人々の喜びはいずこにおいても尋常ではありませんでした。「本」と「師」の笑顔の説法は、大乘山をさらに大きく、崇高な教団に発展させていきました。

『大白牛車』(一)(二)は日達上人ご講演抄、(三)は「六波羅蜜」、(四)は「お題目」について詳しく説明されています。その後(五)(六)(七)は携帯しやすいコンパクトなセットとして発行され、(八)には『一日一言』として毎日の指標となる教えが掲載され、(九)では「妙法・如来寿量品」

昭和60年
● 中布教所開堂

昭和61年
● 淡路支院新本堂竣工

佐屋支院現在地に移転・新本堂竣工
岐阜支院新本堂竣工

知的障がい者支援施設・泰山寮開設

昭和62年
● 鈴木正修上人副山首に就任
安芸津支院新本堂竣工

昭和63年
● 三徳開教八十年・御開山上人第二十七回忌

笠松布教所(杉山先生ご生家)開堂

高槻支院新本堂竣工

副山首上人火葬行入

学園・知多半島総合研究所設立

平成1年
● 筑後布教所開堂

天草布教所開堂

養老布教所開堂

福岡支院新本堂竣工

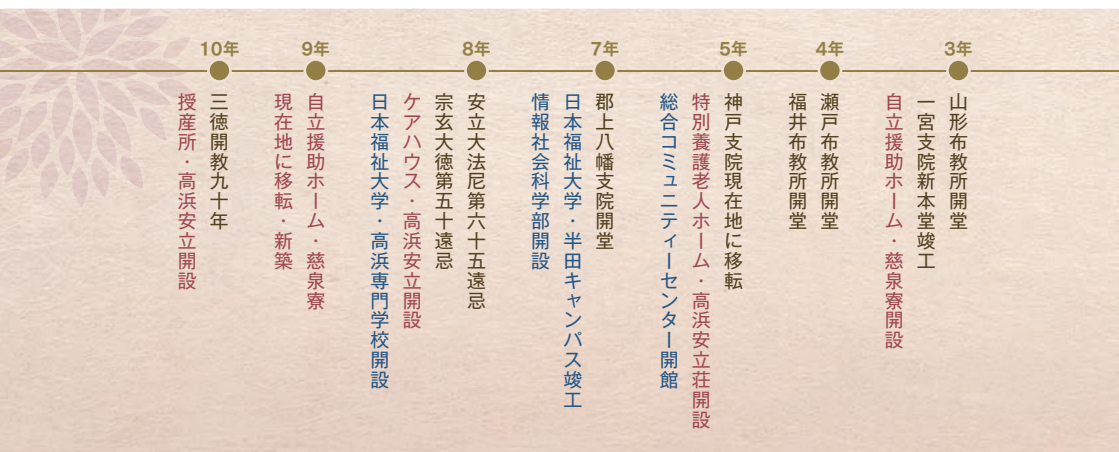
特別養護老人ホーム・安立荘開設

日本福祉大学中央福祉専門学校開設

社会福祉総合研修センター設立



がわかりやすく解説されています。
法音寺三徳の根幹である「六波羅蜜」
について、また、「お題目の意味」や
「お自我偈の内容」について、日達上
人が丁寧に解説くださっています。



『大白牛車』は法華經譬喩品に説かれる、仏さまの乗られる車

「法華經の大白牛車と申すは、我も人も法華經の行者の乗るべき車にて候なり。また車の内には六万九千三百八十余体の仏・菩薩、宝蓮華に坐し給えり。帝釈は諸の眷属を引きつれ給いて千二百の音楽を奏し、梵王は天蓋を指懸け、地神は山河大地を平等に成し給う。故に法性の空に自在に飛び行く車をこそ大白牛車とは申すなれ。我より後に来り給わん人々は、此の車に召されて靈山へ御出あるべく候。日蓮も同じ車に乗りて御迎いにまかり向かうべく候。南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經」（『大白牛車御消息』より）

※教えを学び、実行することで日蓮聖人が大白牛車に乗ってお迎えに来てくださる。さらに先師の方々にもお目にかかれるとしたら何とありがたいことでしょう。

『大白牛車（一）』 教える人が教えられる人

法華經信仰の世界は、教える人は教える人、教えられる人は教えられる人という、一方的なものではありません。教える人が教えられる人であり、教えられる人が教える人であるのです。私も今、こうしてお話をしております。しかし私自身、皆さんに教えられることがいっぱいあります。また、今日聞いてくださっている方も、今度は誰かにこのお話をしてくださるでしょう。そして教化されます。そうすることが一番大事なことであり、それがまた、法華經の心に叶うことであるのです。

※法華經の信仰とは、まさにこういうことなのだと考えさせられます。常に謙虚に学びのアンテナを立てることが基本となり、そういう姿勢だからこそ布教をする上で信頼を受けるのでしょうか。

『安立行』

始祖・杉山辰子先生物語（上）（下）

三徳開教八十周年・始祖六十遠忌記念特集として月刊『法音』昭和63年1月号～平成4年6月号まで54回にわたって連載された物語が上下巻になって登場しました。小説風の読みやすい本となっています。



日達上人の福祉を支えたもの

この時代、法音寺は鈴木正修上人（現山首上人）が副住職に就任し、開教八十年から九十年に向かっていた。日達上人の社会福祉事業が本格的に始まったのもこの時期から。高齢者福祉分野に事業を拡充し、毎年のように新しい施設が開設されていきました（年表参照）。そして、その事業を支えたのが全国の檀信徒の方々です。

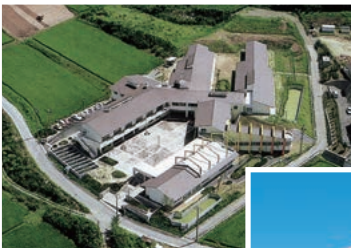
月刊誌『法音』にはたびたび「記念事業・趣意書」が掲載され、日達上人の呼び掛けに檀信徒は一丸となって後に随いました。

〃自分達の浄財が、世の中で本当に困っている人達のために使われることで、その人達が幸せになりますように……人々はそのように願い、それぞれの信仰を深めていった時代でした。

日達上人のみ教え

杉山先生以来法音寺は、いろいろな形で多くの人を力づけてきました。個人の（罪障）消滅・供養という形で集まったお徳を、困っている人を助けることに役立ててきました。社会福祉法人は人々の求めに応じて多くの施設を経営し、そうした施設で働く人を養成するために学校法人を設置・運営してまいりました。それらの事業をすることによって功徳をかさね、皆さんの幸せを願ってきたのです。その功徳すべては、ご供養された皆さんに還元されていくのであります。

（『大白牛車（八）・一日一言』より）



特別養護老人ホーム
安立荘



知的障がい者支援施設
泰山寮



特別養護老人ホーム
高浜安立荘

原点回帰の時代

法音寺が始祖第七十遠忌、御開山上人御生誕百年、さらに三徳開教百年という大きな行事に向かっていた時代。昔を知る信者さんが少なくなり、法音寺の歴史についても認識が希薄になってきた頃でした。時代を重ねるに歴史が、記録として残されていない歴史は解釈が曖昧になるものです。信徒である私達が法音寺の独自性を正しく認識できなくなると、信仰も法音寺の理念から離れていってしまいます。原点に立ち戻ること、 「信仰と福祉」という法音寺の理念を再認識することが必要な時期だったといえます。

マンガ『法音寺物語』

(上)(中)(下)

待望の、まんがによる『法音寺百年史』第一部が完成しました。(略)本書をひもとくことにより、法音寺三徳・感化救済百年史が老若男女すべての人に理解され、その輪に加わろうとする人々が一人でも多く輩出されることを期待するものです。

(『法音』468号平成20年10月)



平成
11年

児童養護施設・名古屋養育院
現在地に移転・新築

12年

安立大法尼第七十遠忌
神戸支院新本堂竣工
養護老人ホーム・高浜安立開設

13年

御開山上人御生誕百年
児童家庭支援センター・さくら開設
グループホーム・高浜安立／
生活支援ハウス・高浜安立開設
日本福祉大学通信教育部開設

14年

開基堂(御開山上人ご生家) 建立
大阪昭徳会設立

15年

小原福祉ビレッジ建設
特別養護老人ホーム・小原安立開設
ケアハウス・大阪安立開設
日本福祉大学福祉経営学部開設
名古屋キャンパス開設

16年

亀岡布教所開堂
大垣支院移転・新本堂竣工

師恩はるかなり『泰山』

―御開山上人伝―

平成5年9月～平成16年12月まで11年以上にわたり『法音』に連載された御開山上人の伝記で、最終話は136回を数えました。平成15年から19年まで、5冊に分けて発行されました。平成16年には同名の写真集も登場しました。(53頁参照)



『日本の福祉を築いたお坊さん』

星野貞一郎著（平成23年）

「ハンセン病救済」など、弱い立場にある人々の真の幸福を願って尽力された鈴木修学先生は、惻隠の情にあふれた人でした。「社会福祉は人にあり」と喝破された先生は、日本初の社会福祉学部を持つ「日本福祉大学」を創設されました。「単なる学究ではなく、また自己保身栄達のために汲々たる気風ではなく、人類愛の精神に燃えて立ち上がる学風」を打ち立てた修学先生とは、どんな人だったのでしょうか。先生の生き方に学び、私達が生きている光明を得たいものです。

「推薦の言葉」日本福祉大学元学長・加藤幸雄先生」



本書の印税のすべては足なが寄金に贈られています

- | | | | | | | | |
|------------------|--------------|------------------------|---------|---|---------------------------|--|---|
| 24年 | 23年 | 22年 | 21年 | 20年 | 19年 | 18年 | 17年 |
| 就労支援事業サポートいずみを開設 | ドミトリー駒方新築・移転 | 児童養護施設・駒方寮
現在地に新築移転 | 天王保育園開設 | 三徳開教百年
日本福祉大学・健康科学部・
子ども発達学部・
国際福祉開発学部開設 | 光徳寺保育園を新築移転し、
光徳保育園と改称 | 和泉支院新本堂竣工
地域小規模児童養護施設・
ドミトリー駒方／ドミトリー南風開設 | 京都支院新本堂竣工
小原福祉レレッジに
小原学園（旧・三好学園）・
小原寮（旧・三好寮）開設
いこいの宿・高浜安立開設 |

『鈴木修学先生の南無妙法蓮華經』

(身延山大学元学長・浅井圓道著)

山喜房佛書林

御開山上人ご生誕百年記念出版

御開山上人の教えと実践を教学の観点から捉えた一冊。

法華經の菩薩道を「慈悲・至誠・堪忍」とした杉山辰子法尼の教えを具現化し、法華經宣布に、教育に、社会福祉に大輪の華を咲かせた修学先生。その実践の生涯は、二十一世紀を担う日蓮宗教師の良き手本といえよう。

(浅井圓道師・「おわりに」より)



『福祉を築く』 鈴木修学の信仰と福祉

西山茂・秦安雄・宇治谷義雄著

中央法規出版

御開山上人の教えは、生活の中に活かす「実行の宗教」であり、それがいかにして形成され、どのような特徴を持つのか、教団作りの経緯とその学問的な意味はどのようなものかを、三人の宗教社会学者が学問的見地から明らかにした一冊です。多くの学者が法音寺を研究対象とするのは、世の中には葬式や仏事のみというお寺が多い中、法音寺が他に例を見ない、信仰を軸として衆生済度を実現している「信仰と福祉の寺」だからです。他のお寺とは異なる法音寺の独自性を知ることができます。



『大乗山法音寺の信仰と福祉』

西山茂・小野文瑠・清水海隆著

仏教タイムス社

慈悲・至誠・堪忍

仏教感化救済会から百年余の歴史を持つ菩薩行三徳・大乗山法音寺（日本福祉大学・社会福祉法人昭徳会の母体）

近現代宗教史、教学と実践、ハンセン病救済等から法音寺福祉の源流と展開を探る。

本書の構成 ・西山 茂「杉山辰子とその教団―法華系新宗教の研究史『失われた環』の発見―」・小野文瑠「日蓮宗との関係で見る法音寺の教・信・行」・清水海隆「『仏教感化救済会』のハンセン病救済活動とその思想的背景」



大乗山法音寺

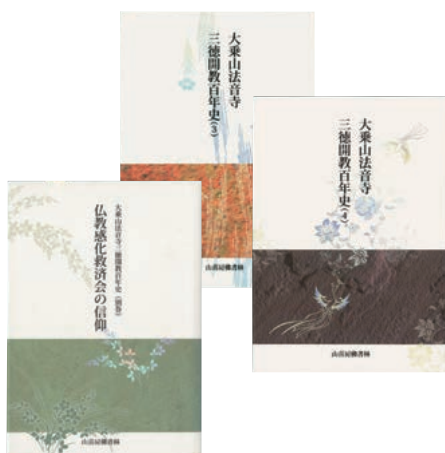
『三徳開教百年史』(1)～(4) 『仏教感化救済会の信仰』(別冊)

太陽は地上世界の宝であります。森羅万象すべてに命の源を与え、育み、生存を可能としてくれています。安立大法尼はその太陽の如く、すべての人に生きる力と喜びを与えようとされたのであります。そして一切の煩惱を断じて、すべての人を仏に、との願いは、釈尊の誓願、日蓮聖人の誓願と何ら異なるものではありません。この誓願を、それは杉山先生のもの、という視点で見たら信仰を誤ります。(略) 安立大法尼は無上道へ旅立たれました。そのことは既に、安立大法尼は天眼通で見透され、後々自分の志を継いでくれる者の心に遺していきたいと念願されたのだと思います。それを継ぐものは、法音寺教団に縁を結ぶ、私達であ

ります。このことを忘れてはなりません。(略)

百年が経ち、新たな百年に向けて私達は歩みを始めました。この先の百年が、より良い日本の百年に、そして、昭徳会・日本福祉大学を含めた法音寺グループのより良い百年になるよう三徳の実践に励み、師恩に報いてまいりたいと念願するものであります。

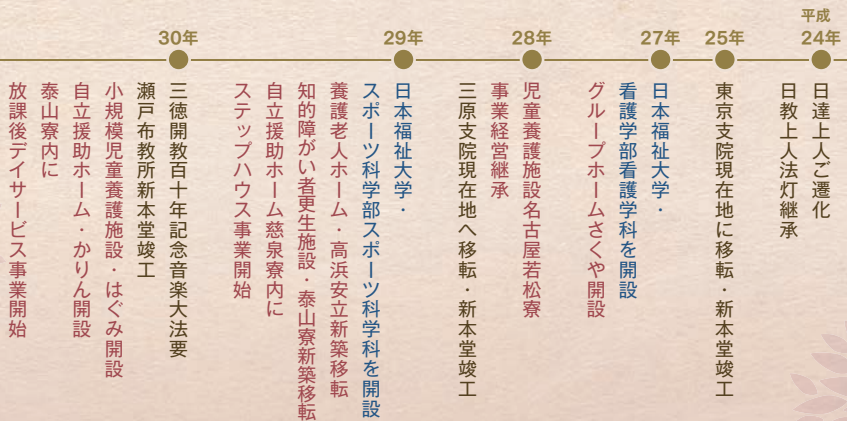
(山首上人「発刊の辞」より)



新たな時代に向かって

平成24年の暮れ、法音寺に日達上人ご遷化という衝撃が走りました。しかし、日教山首上人という新たな太陽のもと、新生・法音寺は新時代に向けて動き続けています。

書店で「心」をテーマにした本が飛ぶように売れているのを見ると、現代人は誰もが「生きて行く上での道標が必要」と感じているのがわかります。しかし、「宗教」と聞いただけで「むずかしい」と尻込みする人が多いのも事実です。日達上人も山首上人も生活に活かせる智慧をわかりやすい言葉で私達に説いてくださいます。一人でも多くの人に日常的に法音寺の教えにふれ、世界の変化を体験いただきたいと思います。



ホームページでは平成23年6月以降の『法音』のバックナンバーをご覧いただけます。



法音寺公式Facebook
毎朝7:00『一日一言』を配信

YouTube動画サイトで法音寺の
歴史・行事・漫画をご覧いただけます。

法音寺メールマガジン
毎週火曜日に山首上人の
ご法話を配信



SNSとはインターネットを介して情報を発信するサービスのこと。近年は電車の中で本を読んでいる人の姿を見かけなくなりました。その代わりに携帯端末（スマートフォン）を見ている人達が増えました。時代が携帯端末の文化に移行していることを考えれば、情報発信の形態が変わろうとも、多くの人達に仏さまの教えをお伝えする法音寺の使命に変わりはありません。

SNSの特徴として、発信する情報は国境を越えます。海外で暮らす方々からも日々「イイネ」をたくさんいただいています。皆さんも一度試してみませんか。「興味はあるけれど、よくわからない」という方も若い人に協力してもらえば、その方達にとっても法音寺にふれるチャンスとなります。

SNSを利用した文書布教

三徳開教百十年を記念して発行された2冊

法音寺教学の百科事典『聖教』

平成30年

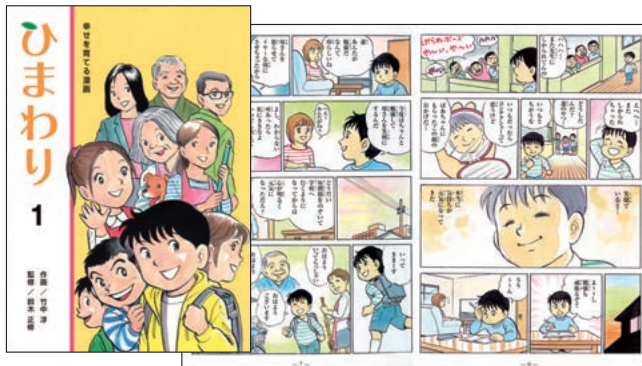
先師・日達上人は常に「法音寺は正當な仏教教団である」とおっしゃいました。ならば、「仏教の系譜」を正しく示す必要があります。六人の偉大な宗教家（釈尊・日蓮聖人・安立大法尼・宗玄大徳・御開山上人・日達上人）の教説を同項にて照鑑できるよう編集された『聖教（ひじりのおしえ）・法音寺教学の百科事典』は胸を張って世に問える著作です。子々孫々まで、本当の幸せに導く書です。ぜひ御一家に一冊おすすめます。

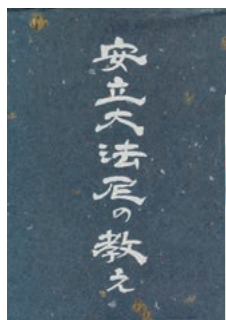


幸せを育てる漫画『ひまわり』

平成30年

「法音寺（名古屋市昭和区）が出版した漫画『ひまわり』が好評だ。小学生の蓮君が出家う日々の出来事を通じて仏教語を使うことなく仏の教えを伝えている。『ひまわり』は2012年から同寺の月刊寺報『法音』に連載。今回冊子にまとめたのは、蓮君が主人公になってからの12作分。同寺ではこれまでも『観音経と観音さま』『法華経七喻の話』などの漫画を発行してきたが、発行から数十年経たので、現代的な内容のものと『ひまわり』を企画。大人にも人気だが、特に子どもからは、休載した月に「今月は蓮君に会えなかった」と寂しがれる声が届く程。これまでも「一冊にまとめてほしい」との要望がたびたび寄せられており、今年同寺が開教110年を迎えたのを記念して発行した。（仏教タイムス 平成30年7月18日掲載記事より）





『安立大法尼の教え』



『妙法蓮華経のお話』



『安立大法尼の教え』

安立大法尼のみ教えにふれ、導かれ、悟りを開かれた四人の師（村上齋先生・御開山上人・鈴木慈学上人・祖父江妙綱法法尼）の『師への想い・体験談』が記された一冊。本当の幸せ＝成仏を目指す私達にとって、珠玉の参考書といっても過言ではありません。

いずれの師も「苦悩」を信仰によって克服され、幸せになられたことを教えてくださいます。「妙法」は「よみがえる法」と教えられるます。その実証といえるでしょう。

師に随って歩まれた「四師」の人生を本書に学び、生き方を「真似（如説修行）」していくならば、その道こそ「法音寺の菩薩道・三徳」そのものであり、成仏＝本当の幸せ一直線と申せましょう。

『妙法蓮華経のお話』

御開山上人の実践とその時代

御開山上人の青年期からの、信仰を求める姿、そして三徳菩薩道が一目瞭然の、成仏への参考書です。併せてお読みいただくことをおすすめします。

写真集『泰山』

御開山上人のことを、より身近に、そして詳しくお知りになりたい方におすすめします。御開山上人のご事蹟をたどるには格好の書です。ぜひ、御一家に一冊はご所蔵いただけますように。



『写真集・泰山』

読者の皆さまへ

お徳が乗った本

法音寺から発行される本は山首上人が、この本を手になされた方が本当の幸せを見出せますように、との祈りを込めた贈り物です。書店に置かれる本と異なるのは、法音寺の本は山首上人のお徳がたっぷりと乗っているということです。つまり「法音寺の本を読む」ということは、「山首上人のお徳をいただく」ことに他なりません。家族全員が法音寺の本にふれると、山首上人のお徳が、行き渡り、幸せな家庭を作るものとなります。

施本はそもそも誰が施すもの？

「徳積み」と聞くと、奉仕や写経、また先祖供養や罪障消滅をまず思い浮かべる方が多いかもしれません。しかし、何といっても最大の徳積みは、世の中

に善人を作ること。

その昔、会員の方々は「徳積み」として、自ら買った施本を「ぜひお読みください」と人々に手渡されたとお聞きしています。現代を生きる私達も当時の篤信信徒の徳行を少しでも見習いたいものです。本来、施本とは人々が「徳積み」としてお寺の本を人に施すことを指します。

月刊『法音』も「会員の特典」ではなく山首上人が祈りを込めて毎月私達に施してくださっているものです。

どんなことをするといいの？

できることはたくさんあります。例えば、以前ご自分が読んで感動した本をお寺で求め、法事など、縁者のお集まりになる際に皆さまにお渡ししてはいかがでしょう。ご親戚の方々にも、ご先祖のみ魂にも山首上人のお徳をお届けすることができます。

月刊『法音』も、山首上人のご講演

に感動したら、「とても良いお話なので、ここだけでも読んでみて」と自分感動した」という事実を添えてお友達に渡してみてください。レストランでおいしい料理を食べた後に、「自分がおいしいと思ったから」一度食べてみて」と紹介するのと同じです。

また、「最近のお寺はこんな取り組みをしているみたいだね」とYouTubeやメールマガジンを紹介したり、Facebookの記事に「シェア」ボタンを押すだけであなたとつながっているお友達に法音寺の教えが届けられます。これも立派な文書布教です。法音寺三徳の教えに接することで、みんなが幸せになります。

まずは、支院・布教所に設置されている本を手にとってご覧ください。お手元がない本、読んだことのない本は、どうぞご遠慮なくお問い合わせください。

福祉の ひろば



SINCE 1912
SHOTOKUKAI



若いお父さん・お母さんのために

はぐみ

「みんなで食べるとおいしいね！」

めずすのは食べることを好きになること！
だから「たのしく！」

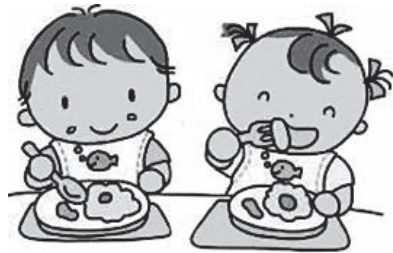
子どもの健やかな心と身体を育むためには、「なにを」「どれだけ」食べるかということ、「いつ」「どこで」「誰と」「どのように」食べるかということが、大切になります。特に、子どもが食事をするときの環境と健康状態の関係は、以前から研究されていて、一人で食事をとる「孤食」という言葉も生まれています。実際、「大人と一緒に、楽しい会話をしながら食事をしている」と答えた小学生は健康状態が良いということもわかっています。また、子どもの頃の食事の環境は、大人になってからの健康状態にも影響を与えるということもわかっています。

保育園でも、まずは楽しく食事することから始めています。保育士が「たのしいね」「おいしいね」と言いながら食事していると、自然に「食べてみようかな」と一口食べてみる子もいます。そのタイミングを逃さず「す

「おいね」「食べられたね」とたくさんほめると、子ども達は満面の笑みで本当にうれしそうにします。このやり取りの中で、少しずつ食べられるものが増え、好き嫌いが少なくなっていくように思います。ほめられた経験が、次への意欲と自信につながるのだと思います。

家庭では、ママやパパに甘えたい思いから、ほめても励ましても食べてくれないことがある

と思います。イライラしたり、怒ったりしてしまうこともあるかもしれません。しかし、本人に「食べたい」という気持ちが生まれなければ、何でも喜んで食べるようにはなりません。同じ物を同じ食卓で「おいしい、おいしい」と大人が食べる姿を見せることから始めてみてはいかがでしょうか？



天王保育園 グループリーダー（保育士） 松下 香織

健康コラム

「十月十日は目の愛護デー」

数字の「10」を二つ並べて横にしたときに盾と目の形に見えることから名づけられたそうです。乳幼児期は、もともと目の機能が育つ時期です。前髪が目にかからないようにしたり、汚れた手で目をこすらないようにしたりして、目にやさしい生活を心掛けていきたいですね。また、長時間テレビを見たりゲームをしたりすると、目は酷使されます。時間を決めるなどして、控えるようにしましょう。



純粹な心と笑顔にふれるために

ふれあい

アスペルガー症候群って、なに？②

アスペルガー症候群をわかりやすくイメージしていただくために

世間にアスペルガー症候群が知られるようになったのは、1988年のダスティン・ホフマンが突出した能力を持つ自閉症（アスペルガー症候群）の成人を演じ、アカデミー賞を受賞した映画「レインマン」。それをきっかけに書籍やドラマ等で取り上げられ、一般の人に知られるようになりました。この映画の反響で『もしかしたら自分？』『あの人は？』と疑問を抱き、専門の病院に相談する人が増えました。

《以下の事例は、医師からの診断を受け、ご自身で公表している正式な情報です》
近年では多くの著名人がアスペルガー症候群であることを公表しています。



その中でも有名なのは、数々の名作映画に携わったステイプン・スピルバーグ。オーディション番組に出演し一躍スターとなったスーザン・ボイル。アスペルガー症候群は興味の分野において、驚異的な集中力や行動力を発揮する特徴があり、その能力が制作や演出に反映されています。ステイプンは「アスペルガーだから成し遂げられたこと。しかし、家族や周囲のスタッフの理解とサポートがなければ成し遂げられなかった」と述べています。

日本では余り知られていませんが、グレタ・トゥンベリという女性活動家は、地球温暖化への対策を発信し、ノーベル平和賞にノミネートされました。彼女の活動や功績によつて世界が「アスペルガー症候群は障がいではなく、『才能の一つ』と捉えるようになり、多くのアスペルガー症候群の人に勇気と希望を与えた」と評しています。

アスペルガー症候群の理解は進んでいるものの、前述のような恵まれた環境の中でアスペルガー症候群と向き合っている人はごく一部であり、悩んでいる人の方が大半です。グレタ・トゥンベリが言う「誰にでも平等に与えられた可能性」に目を向けることで、アスペルガー症候群の人達と物事を共有し、敬い、必要とする社会を築くことが、今求められていると思います。

障がい者支援施設 小原寮 生活支援員 加藤 宗宏



小原寮の自閉症者の方が、描いた絵画です。

右はKさんの描いた「野菜」…。

左はWさんの描いた「動物」…。

私達の想像を超える感性が光っています。これらの方達が描く絵画は専門家の方からも高い評価を受けています。

いつまでも穏やかな日々を送るために

よりそい

心のバリアフリーのできること

認知症予防って言葉、テレビや新聞で見たことはありませんか？

〈認知症発生のリスクを少なくするには〉

脳の活性化が必要です。脳の活性化にはいろいろな方法がありますが、4つのことを心掛けてください。

① 刺激的で笑顔に

心地良い刺激や笑うことにより、意欲をもたらす脳内物質（ドパミン）が放出されます。

② コミュニケーションで安心

社会との接触が失われると、認知機能の低下が促進されます。友人や家族と楽しく過ごすことが大切です。

③ 役割・日課を持つと

人の役に立つことを日課に取り入れることが、生活を充実させ、認知機能を高めます。

④ ほめる、ほめられる

ほめても、ほめられてもドパミンがたくさん放出されます。



以上の4つを心掛け、楽しく行うことです。本人が嫌がるのに無理強いするのは、ストレスや自信喪失にもつながります。認知症予防のために「何をしたら良いか」ではなく、どう刺激ある日常を送るかが重要です。

心のバリアフリーのできることを紹介します。

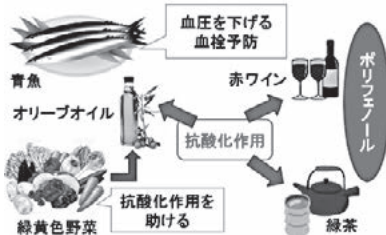
認知症の方への支援は、心のバリアフリーと「人間杖」が必要です。認知症の人は自分の障がいを補う「杖」の使い方を覚えることができません。「杖」のつもりでメモを書いてもうまく思い出せず、なんのことかわからなくなりまう。認知症の人への援助には障がいを理解し、さりげなく援助できる「人間杖」が必要です。

私も、入居者さんの「人間杖」になれるよう日々支援しています。コップを持ってうまく飲めず困っている方がいました。少し困った顔で、「これ（お茶）が飲みたいの」と話します。コップで飲ませてあげるのは簡単ですが、私は隣に座って手を添えて少しだけ口に近づけるのをお手伝いします。そうするとご自分で飲むことができました。「人間杖」に正解があるわけではありませんが、入居者さんの【自分でできること】を大切にしています。皆さんが「人間杖」になることで、こころのバリアフリー社会につながるのではないかと思います。

特別養護老人ホーム小原安立 ユニットリーダー（介護員） 石原 隆志

認知症予防に適した食事

青魚には血圧低下や血栓予防。
オリーブオイルには抗酸化作用。
その働きを緑黄色野菜が助けまう。
飲み物ではポリフェノールやカテキンが含まれている赤ワインや緑茶がおすすめです。



好評! 楽はやっくッキングレシピ集

写真提供・昭徳会



駒方保育園

～「レシピ集」地域のパパ・ママ、子育て支援に貢献～

近年、核家族が増え、一人で子育てに悩むお母さん達が増えています。保育園でも子育て支援事業を進めることが求められるようになり、駒方保育園では「あそぼう会」という名称で月一回施設開放や育児相談を行っています。法人主催の第11回福祉実践発表会では、職員や保護者の会話の中からヒントを得た子育て支援を発表しました。

「今日の夕ごはん何にしよう？」夕方の職員室で女性職員同士がよくしている会話です。働く保護者も仕事を終えて保育園お迎え後、どんなに疲れていても家族の夕食づくりが待っています。ワーキングマザーお悩みランキングでも「帰宅後の家族の料理」が上位を占め、苦労していることがわかりました。この避けて通れない食事づくりの手助けになればと「食」に視点をあて、新たな子育て支援として、簡単にできるお料理レシピの作成をしました。

- ① 短時間で
- ②

冷蔵庫にあるもので ③子どもも喜ぶメニューを条件とし、職員が自宅できく作る自慢の料理を集め、第一弾として、「職員発！楽はやつクッキングレシピ集」ができあがりました。このレシピ集を配布後、「家庭で作ってみました」「簡単にできるので、父親が作ってくれました」などの反響があり、また、反対にお料理好きの保護者から「我が家の自慢メニューも紹介します」と声掛けをいただき、第二弾は「保護者発！楽はやつクッキングレシピ集」ができあがりました。第二弾は配布だけでなく、園内にも貼り出したので、保護者と子ども、保護者と職員、職員と子どもでレシピ集を通して話も弾みました。そして、このレシピ集を通して保護者の方とさまざまな話をする中で、給食やおやつがおいしいと話す子どもも多いことがわかり、第三弾は「保育園での給食やおやつのおいしいレシピ集」を作成しました。

その後、たくさんの方の保護者に喜ばれたレシピ集を、昭和保健センターの保健師さんに紹介する機会があり、大変興味を持っていただきました。そして、保健センターで発行している「保健センターだより」にこの取り組みが掲載されました。また、保健センターの「子育て総合相談窓口」にレシピ集を設置して、乳幼児健診などでセンターを訪れた妊婦さんや若いお母さん達にも、このレシピ集を手にしていただくことができました。

今回の取り組みで、保育園の働く保護者を支えることができたとともに、それ以外の地域のパパ・ママ達にも広く活動が知られ、子育て支援の一助として役立てたことをとてもうれしく思います。今後も保育園の機能を活かし、さまざまな角度や視点からの子育て支援を続けていきたいと思っています。

駒方保育園 調理員 渡邊 幸代

れることを決意しました。

鈴木上人は農作業を通して罪を犯した17名の少年達を更生させる仕事を任せられました。また、孤児・被虐待児・興行師に売られた子ども・障がい児のための施設の経営も引き受けました。子ども達と一緒にあって農作業に精を出し、米や穀物を栽培しました。

鈴木上人は決して子ども達を叱ることなく、むしろいつでも子ども達をほめることに徹しました。

「親から捨てられ、または虐待を受けた子ども達は常におびえ、信頼関係が欠如しています。良いことをした時には子ども達をほめましょう。そうすれば子ども達も穏やかで素直になります。自分達をほめる人に対して子ども達は信頼を置くようになります」

鈴木上人のこの信念は、釈尊が言う「生きとし生けるものをまさに私と同じようになることを欲す（如我等無異）」という法華経の教えに基づいています。

「この世に生まれた人はすべて仏さまの子です。法華経によれば、精神障がい者も含め、誰もが等しく成仏できるのです。そして誰もが本当の幸せを達成する権利があるのです。仏さまは悟りへの正しい道を私達に示し、仏性を開花させようとされるのです」

どの子どもにも差別することなく接した鈴木上人は、すべての子から敬われ、信用されたのです。

1945年に第二次世界大戦が終戦を迎えた頃、日本には12

万人を超える戦災孤児がいましたが、孤児院ではそのうちの2万人しか保護できませんでした。

鈴木上人は親を失った多くの子ども達を保護しましたが、10万を超える孤児達は放置されたままでした。この悲惨な状況を打開するため、鈴木上人は子ども達により良い福祉を展開することに努力を惜しみませんでした。養護施設を作り、幼い子ども達の世話をし、子ども達の教育に尽力しました。

1946年、鈴木上人は日蓮宗僧侶として得度。その四年後、鈴木上人は49歳で百日間の大荒行に入行しました。その後、第参行を達成しました。

「子ども達のために幸せの種をまく必要がある。そのためにもっと法華経を学びたい。それを実現するには日蓮宗僧侶になつて仏道に進進することが私にとって最善なのです。人々を善道に導くのが私の使命です。そのためには正しい教えを率先して実行し、子ども達の良いお手本になる必要があります。そのためには修養しなければなりません。荒行は私自身を磨く良い機会となりました」

鈴木上人は福祉事業を続けながら、未来の社会福祉のために人を育てることが必要になると確信し、社会福祉に従事する若者を教育する大学を設立することを決断しました。1953年、愛知県名古屋市内に日本福祉大学という4年制の大学を設立しました。社会福祉の専門大学です。以来、6万人を超える学生が大学を巣立ち、社会福祉のさまざまな仕事に就いています。

幸せの種まきⅡ感謝と親切

今日一日は人の良いところをほめ、 人に親切にしましょう

良いことを見出してほめ合い、喜ばせ合う行いが
自分の住んでいるところを極楽にするのです

大乗山 法音寺

編集後記

今月は記念すべき600号ということで「法音寺と文書布教」という特集を掲載いたしました。寺史を併せてみると、その本を手にした当時の信者さん達の喜びの様子が伝わってくるようでした。

特集記事を編集しながら、ふと考えることがありました。

もし『世界の鏡』が発行されていなかったら…。またその当時、街頭布教を行っていなかったら…。御開山上人が杉山先生に出会うことはなかったでしょうし、今日の法音寺・昭徳会・日本福祉大学は存在していません。そして歴代先師が心血を注がれた福祉事業もこれ程発展しなかったかもしれません。

一冊の本が人の手から手にわたるということがいかに尊いことなのかを思い知らされます。やはりそこには、仏さまの計らいを感じずにはいられません。施本の中には、先師の年忌に記念発行されたものが多くあります。当時の信者さん達は手にされたことはあっても、それ以降に法音寺で信仰を始めた方々とはご存じないかもしれません。それぞれの本には法音寺のお徳がたっぷり含まれていますので、これを機会にぜひ手にとってお読みいただきたいと思います。



ボランティア

竹中 淳



気がすすまないまま
日曜日（にようび）をむかえた

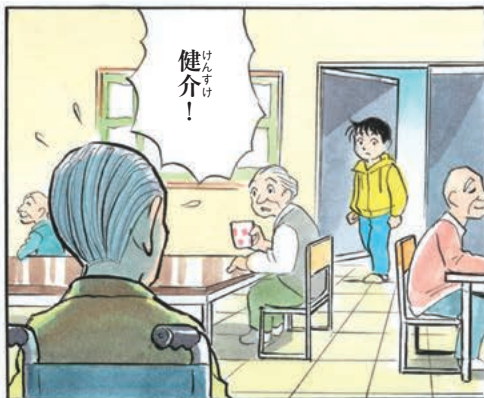


ボクが施設（しせつ）に着（つ）くと
もうみんな楽し（たの）そうに
歌（うた）をうたったり
演奏（えんそう）したりしていた



蓮（れん）！
こっちよ

健介（けんすけ）！



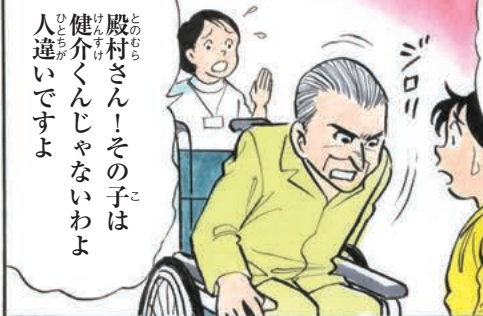
？



健介（けんすけ）！
よく来て
くれたね！



え？ボク…
蓮（れん）…
だけど…



殿村（とのむら）さん！その子（こ）は
健介（けんすけ）くんじゃないわよ
人（ひと）違い（ちが）いですよ

ごめんね



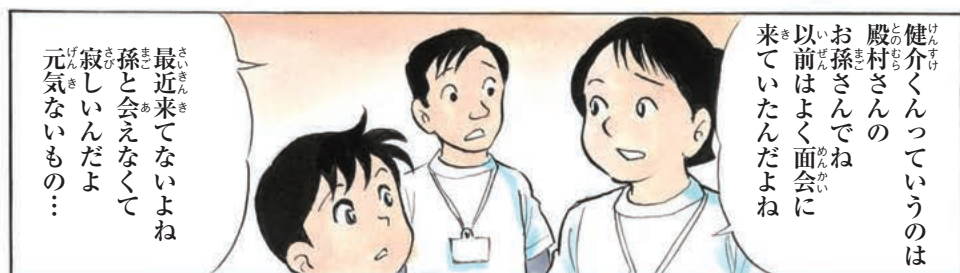
あゝ
びっくりした



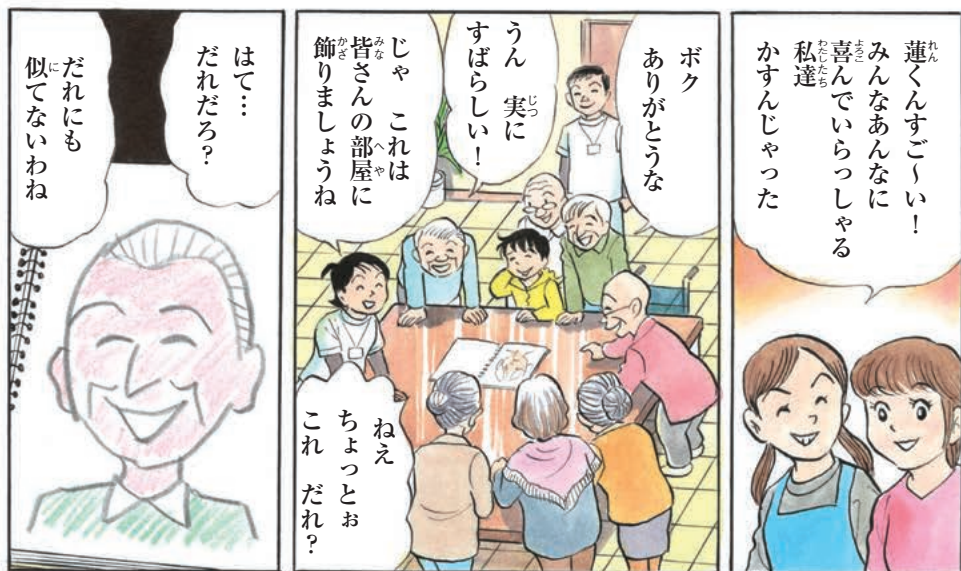
蓮（れん） これから
リコーダー（りこーだー）演奏（えんそう）と
歌（うた）だけ（だけ）入（はい）る？

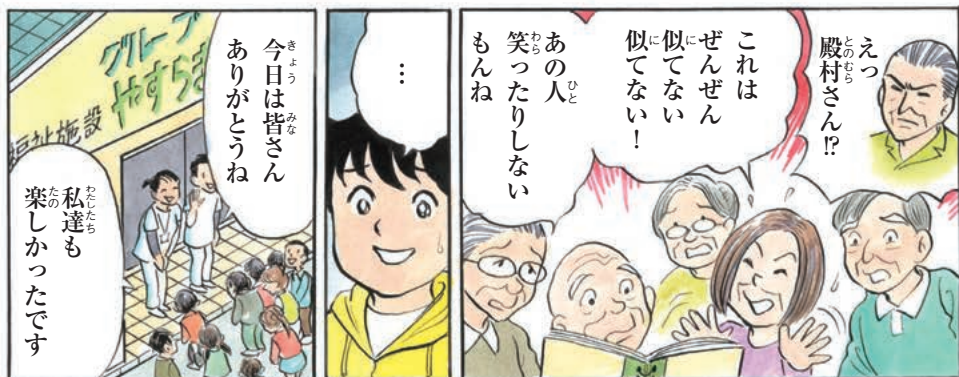
いいよ
ボク
見てるから











つぎにちようび
次の日曜日：





おしまい

書籍のご紹介

法音寺を
知りたい方へ



戦後、法音寺を開山した鈴木修学上人は、仏教の教えを漫画で伝えようと多くの仏教漫画を作りました。当時の仏教界では革命的な取り組みでした。現在、全国の日蓮宗寺院で法音寺の仏教漫画が販売されています。

■まんが

『法音寺物語上・中・下』

法音寺広報委員会 企画

中央法規出版刊

B5版 平均九六頁総カラー

定価各巻一、〇〇〇円(税別)

法音寺の教えを
学びたい方へ



現代生活の指針

鈴木修学 著

四六判/三四五頁

定価一、〇〇〇円(税込)



続現代生活の指針

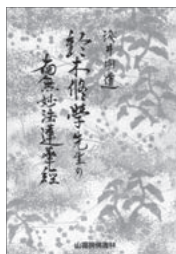
鈴木修学 著

鈴木修学 著

四六判/三二二頁

定価一、〇〇〇円(税込)

仏教を
学びたい方へ



鈴木修学先生の
南無妙法蓮華経

浅井 圓道 著

山喜房佛書林 刊

四六判/二百二頁

定価一、八二四円(税込)



妙法蓮華経略義

鈴木修学 著

青山書院刊

A5版/八六三頁

定価六、〇〇〇円(税込)

福祉を
学びたい方へ



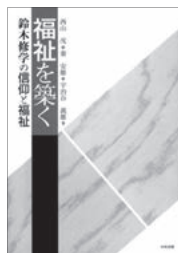
日本の福祉を築いた
お坊さん

星野貞一郎 著

中央法規出版刊

A6版/一六八頁

定価八六四円(税込)



福祉を築く

西山茂・秦安雄 著

宇治谷義雄 著

中央法規出版刊

A5版/二二三頁

定価三、六二八円(税込)



知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂

《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています



SNSでつながる法音寺



法音寺公式

facebookで

毎朝7時

『一日一言』

配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日

法音寺メールマガジン

配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて

法音寺チャンネル

開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索



法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保 育 所
- 自立援助ホーム
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市中区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<https://www.syoutokukukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<http://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和元年10月号・No.600・令和元年10月1日発行

発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会

非売品／印刷・(株)一誠社